kuraray

trosifol™
world of interlayers

TROSIFOL
CASE STUDY
ブリッケル・フラタイアン（マイアミ/USA）

© Golden Dusk Photography

Japanese

構造強度＆安全性

ブリッケル・フラタイアン（マイアミ/USA）

居住者は広さ585 m²の最先端フィットネスセンターでプライベートのスチーム、サウナ、ロッカーといった設備を利用できます。

先進的中間膜テクノロジーを活用した滑らかな姿でマイアミの地平線を彩るコンドミニアム、ブリッケル・フラタイアン

マイアミ市で一番背の高いコンドミニアム「ブリッケル・フラタイアン」では、トロシフォルのセントリグラス®アイオノマー樹脂製中間膜が、強度、透明度、エネルギー効率、保護性能の実現に貢献しています。

マイアミのダウンタウンのブリッケル金融街中心部に位置するこの64階建て・高さ224 mの建物は、現在マイアミ市内では最も背が高いコンドミニアムで、地元だけでなく国内外の購買者に贅沢な居住空間を提供しています。

1ベッドルームから5ベッドルームまでのタイプが用意されており、限定コレクションのペントハウスには2フロアや3フロアにまたがるメゾネット型もあります。527戸の大部分は既に買い手がつき、残っているのは79万ドルから300万ドルの部屋と、上部に位置する940万ドルの2フロア・メゾネット型ペントハウス1戸です。

タワーの64階にある屋上アメニティ施設には、青い海や光あふれるマイアミのダウンタウンのパノラマを360度見渡せるスカイスパ、スカイプール、スカイジムがあります。また、居住者はプライベートのスチーム、サウナ、ロッカー設備、広さ585 m² (6300平方フィート) の最先端フィットネスセンター、ジュースバーも利用できます。さらに18階にはリゾートスタイルのラッププール〔小さめで細長いプール〕と子供用プールがあり、プライベートの映画館 (前の人の頭が邪魔にならない座席設計) 、ビリヤードルームとラウンジ、クラブルームも設けられています。

ウーゴ・コロンボ率いるCMCグループが建てたブリッケル・フラタイアンは、建築家ルイス・レヴエルタの独創的な設計です。

SentryGlas®

設計	レヴエルタ・アーキテクチャー・インターナショナル（Revuelta Architecture International）
ガラス工事	ジョヴァンニ・モンティ＆パートナーズ（Giovanni Monti & Partners〈GMP〉）
合わせガラス製造	テクノグラス（Tecnoglass）
建物オーナー	CMCグループ

Image © Tony Tur Photography

内部はイタリアの設計建築家マッシモ・イオザ・ギーニが、プロジェクト全体を通して光を中核要素として使い、柔らかい光と明るい光のコントラストで屋内と屋外のスペースの違いを演出し、居心地が良く、かつ洗練された雰囲気を生み出しています。

64階建てのブリッケル・フラタイアンは、現在マイアミで一番背の高いコンドミニアムです。
Image © Golden Dusk Photography

コロンボとレヴエルタはこれまでも数々の重要な建物でタッグを組んできました。1988年、コロンボはレヴエルタにブリッケル通りの高級な高層ビルの設計を依頼しました。1993年に完成したその40階建てコンドミニアム「ブリストル・タワー」は円柱状の外観と全周にバルコニーが設けられた設計で大評判となり、マイアミに新しい“粋なスタイル”をもたらしました。レヴエルタはその後もマイアミのサーフサイドのアジャー・コンドミニアム複合施設、ベイショア・ドライブのグローヴナー・ハウス、ブリッケル通りのサンタマリア・コンドミニアムなど、フロリダで珠玉の建物を多数設計しています。彼のビルはどれも、マイアミの海の波に呼応するかのような動きが感じられる点が特徴です。レヴエルタ自身、「私は常に、ともすれば静的なコンクリートの塊になりがちな建物に、動的な感覚を与えようと努めている」と述べています。

ブリッケル・フラタイアンの外観はまるでガラスの海で、たくさんのガラスが使われ、各階の手すり壁もガラス製です。

Image © Tecnoglass

この美学を反映したブリッケル・フラタイアンの外観は、すべての階にガラスの窓と手すり壁がふんだんに使われ、あたかもガラスの海のようです。今ではフロリダや周辺州でかなりよく見られるようになったガラスの多用という特徴は、構造用合わせガラスがあればこそで、そうした構造用ガラスを可能にしたのがトロシフォルの先進的なPVBとセントリグラス®アイオノマー樹脂製中間膜です。

「1990年代初めにマイアミで開発事業に乗り出した時、わが社はブリッケル通りやダウンタウンを『まっさらなカンヴァス』と捉え、ゆくゆくは24時間生き生きとした生活が営まれる活気あふれた居住・商業地区になると考えていました」と、開発業者CMCグループの創業者であるウーゴ・コロンボは言います。

建物にガラスが多用されていることについて、コロンボはこう語ります。「四方が壁だなんて誰も望みません。人はいつだってガラスが大好きです。眺めは素晴らしいし自然の光が入りますからね。ガラスはどんな時でも化粧漆喰より見栄えがします。コストは若干高くなりますが、私は外から見ても中から見ても、より見た目の美しい高級な建物を作りたかったのです」。

彼は続けます。「わが社では他の開発プロジェクトでもセントリグラス®を使ってきましたし、今後の計画でもガラスを主要な要素と位置付ける姿勢は変わらないでしょう。近年の中間膜や合わせガラスの進歩によって省エネ基準の要件を満たしながら高い透明度を提供できるようになった事実が、その根拠です」。

テクノグラス社とESウィンドウズ社の両方で営業担当副社長を務めるカルロス・アミンは次のように語っています。「今回のプロジェクトではトロシフォルの中間膜が幅広く使われています。厚さの異なるセントリグラス®を使い分けました。バルコニーには0.89 mm（35ミル）のセントリグラス®、アメニティ施設には1.52 mm（60ミル）のセントリグラス®を採用し、地上9 m（30フィート）までの大型飛来物衝撃エリアはすべて2.28 mm（90ミル）のセントリグラス®、9 mよりも上は小型飛来物衝撃に対応して1.52 mm（60ミル）のトロシフォル製PVB中間膜を採用しました」。

アミンは続けてこう説明します。「バルコニーの手すり壁の色に変化をつけ、奇数階はグレーのガラス、偶数階は透明ガラスにして、建物がストライプに見える効果を出しました。この手すり壁は、5 mm（3/16インチ）の透明またはグレーのガラス＋0.89 mm（35ミル）のセントリグラス®＋5 mmの透明ガラスで構成されています。一方、支柱なしの手すり壁は、10 mm（3/8インチ）の透明ガラス＋1.52 mm（60ミル）のセントリグラス® ＋10 mmの透明ガラスです。そして、ウィンドーウォール（窓ガラス）は6 mm（¼インチ）のグレーのN70/38ガラス＋1.52 mm（60ミル）のトロシフォル® PVB＋6 mmの透明ガラスになっています。わが社のLow-EガラスN70/38をグレーのガラス

トロシフォルは、建築用合わせガラスに使用されるPVBおよびアイオノマー樹脂製中間膜のグローバルリーダーです。極めて幅広い製品ポートフォリオを誇るトロシフォルは、以下のような場面で卓越したソリューションを提供します。

- **構造部：**トロシフォル® エクストラスティッフ（ES）PVB、セントリグラス® アイオノマー樹脂製中間膜
- **防音：**防音用トロシフォル® SCモノレイヤー、同マルチレイヤー
- **紫外線制御：**紫外線完全カットから、自然な紫外線透過まで
- **ウルトラクリアー：**業界で最も低い黄色度指数
- **装飾およびデザイン：**黒色、白色、カラー、プリント中間膜各種

に重ねて使ったのは、外の眺めをあまり暗くせずにできるだけ日射熱取得率を低く抑えるためです」。

ガラス工事を請け負ったジョヴァンニ・モンティ&パートナーズ（GMP）社の業務・調達担当副社長サミル・アミンはこう言います。「GMPは長年、南フロリダの建築基準法令に適合するガラス工事システムを開発してきました。とはいえ、現場ごとに特有の課題があり、新しい設計や製品工学やテストが必要になることもあります。ブリッケル・フラタイアンでは多様なシステムが要求され、そのすべてで合わせガラスが使われました。トロシフォル®とセントリグラス®中間膜はそれらのシステムの不可欠な一部分で、建築家のビジョンを満足のいく形で実現することに貢献してくれました」。

マイアミ・デイド郡の建築基準は世界で最も厳しい部類に属し、ハリケーンや熱帯性低気圧に襲われやすい地域であることを考慮しなければなりません。かつてはガラスは建物の設計上の弱点とみなされていましたが、高性能中間膜が次々に開発されて現在は構造用ガラスの興隆期と言え、ガラスを使う建物がどんどん増えています。コーティングと添加剤の進歩でガラスの採光性と遮熱性の両方を同時に高めることも可能になり、極めて厳しい省エネ基準もクリアできるようになっています。ブリッケル・フラタイアンは、自然光を最大限利用しつつ中にいる人の安全を守る保護性能を確保した設計という点で、今の時代のガラス工事のまたとない見本です。

タワーの64階の屋上アメニティ施設には、360度のパノラマ景観を楽しめるスカイスパ、スカイプール、スカイジムがあります。

Image © CMC Group

トロシフォル®またはセントリグラス®製品を使った大規模プロジェクトを手掛けたことがあり、『ラミネーティッド・グラス・ニュース』で取り上げてほしい方は、以下にご連絡下さい。

trosifol@kuraray.com

kuraray

trosifol™
world of interlayers

クラレグループの製品全般につきましては、こちらのサイトから。www.kuraray.com.
トロシフォル®のサイトはこちらです。www.trosifol.com.

Kuraray America, Inc.
PVB Division
Wells Fargo Tower
2200 Concord Pike, Ste. 1101
Wilmington, DE 19803, USA
+ 1 800 635 3182

Kuraray Europe GmbH
PVB Division
Muelheimer Str. 26
53840 Troisdorf
Germany
+ 49 2241 2555 220

株式会社クラレ
PVB事業部
東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
電話：03-6701-1508

trosifol@kuraray.com
www.trosifol.com

Copyright © 2020 Kuraray. All rights reserved.
Trosifol、Butacite、SentryGlas、SG、SentryGlas Xtra、SGX、SentryGlas Acoustic、SGAおよびSpallshield は株式会社クラレおよびその関連会社の商標または登録商標です。これらの商標はすべての国で登録されているわけではありません。本文書は細心の注意をもって作成されていますが、間違いまたは記載が不正確であったことにより貴社に生じたいかなる損害についても、株式会社クラレおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。また、製品仕様以外のいかなる品質・性能を保証するものではありません。ご使用に際しては、使用用途・設計およびそれらに関連する法規を十分考慮し、製品に問題ないことを貴社がご判断の上、貴社の責任においてご使用ください。

07/2020